

2024 年度 東京大学地震研究所共同利用研究集会

大気・海洋・固体地球の波形解剖学：新たな海陸高密度観測に基づく高分解能イメージング
と震源過程解析

日時：2024 年 12 月 23 日（月）・24 日（火）

会場：東京大学地震研究所 1 号館セミナー室＋オンライン（口頭発表）

2 階ラウンジ（ポスター発表）

発表時間 通常：20 分（口頭発表：15 分、質疑応答 5 分）

招待：25 分（口頭発表：20 分、質疑応答 5 分）

2024 年 12 月 23 日（月）

13:25 はじめに

西田究（東大地震研）

【座長：久保田達矢】

13:30 S24-01 MERMAID フロートによる海洋地震観測

（招待）

大林政行（海洋研究開発機構）

13:55 S24-02 2023 年 10 月に嬬婦海山で発生した津波イベントの T 波

武村俊介（東大地震研）・久保田達矢（防災科研）・

三反畑修（東大地震研）

14:15 S24-03 海底カルデラ内断層の複数セグメントでの繰り返し地震：DONET を
用いたミリメートルスケールの津波検出

三反畑修（東大地震研）・齊藤竜彦（防災科研）

14:35 – 14:55 休憩 20 分

【座長：三反畑修】

14:55 S24-04 震源域の海底水圧記録の津波・海底永久変位・長周期地震波を活用
したリアルタイム津波波源推定手法の構築

対馬弘晃（気象研）・久保田達矢・齊藤竜彦（防災科研）

15:15 S24-05 沖合津波波形記録を用いた 2024 年 8 月 8 日に発生した日向灘の地
震の震源断層モデル

久保田達矢・久保久彦・齊藤竜彦（防災科研）

15:35 S24-06 常時微動トモグラフィーによる S 波速度構造モデルに基づくアスペ
リティ・マッピングの試み

高木涼太（東北大）

15:55 – 16:15 休憩 20 分

【座長：中山雅之】

- 16:15 S23-07 Basel 地熱地帯における誘発地震の地震パラメタ推定
吉光奈奈（京大）・棕平祐輔（東北大）・浅沼宏（産総研）
- 16:35 S23-08 奥会津地域における、S 波スプリッティングを用いた地下の亀裂特性
の検出
森本光貴・吉光奈奈（京大）・岡本京祐（産総研）
- 16:55 S23-09 Velocity change in the Nankai accretionary prism using earlier time
window of ambient noise autocorrelation
垣内優亮・辻健（東大）・利根川貴志（海洋研究開発機構）

17:10 – 18:30 ポスター発表

- S24-P01 広帯域地震観測網で構築した三つ組アレイを利用した 2023 年 10 月鳥島近海
で発生した震源の探索
青木泰智・奥脇亮（筑波大）
- S24-P02 火星のインパクトイベント S1034a の観測記録に基づく火星内部不均質構造
の検討
平井隼人・前田拓人・平野史朗（弘前大）
- S24-P03 広帯域地震計アレイによる地動回転成分の観測
今西和俊・矢部優（産総研）
- S24-P04 数値シミュレーションにおけるレシーバ関数に対する震源時間関数の影響
市部悠斗・川方裕則（立命館大）・平野史朗（弘前大）
- S24-P05 深発地震に伴う sP 波の地域性
貝淵美紗・前田拓人・平野史朗（弘前大）
- S24-P06 散乱係数の深さ分布が地震波エンベロープに与える影響の検討
小泉雅樹・河原純（茨城大）
- S24-P07 東北日本背弧側における地震波エンベロープ拡大
楠美紀公・前田拓人・平野史朗（弘前大）
- S24-P08 2024 年能登半島地震のすべり分布推定：ABIC に基づく津波・測地データ
のジョイントインバージョン
水谷歩（東北大）
- S24-P09 3 次元半無限均質媒質中の拡散波動場における歪成分へのエネルギー分配
中原恒（東北大）

- S24-P10 Seismic Wave Propagation Through Random Media: Monte Carlo Simulation Based on the Radiative Transfer Theory
佐藤春夫（東北大）・江本賢太郎（九州大）
- S24-P11 観測および理論レシーバ関数に基づく南海トラフ沈み込み帯におけるプレート境界周辺の速度構造の特徴
高山朗文（京大）・佐脇泰典（産総研）・RUAN Yihuan（京大）・伊藤 喜宏（京大防災研）・前田 拓人（弘前大）・澁谷 拓郎（京大防災研）
- S24-P12 Hi-net 地震計記録を用いた近年の洪水時における流量推定の試み
澤崎郁・P.C. Shakti（防災科研）
- S24-P13 東北地方太平洋沖地震後の地震波減衰の時間変化（その2）
手老勇登・中島淳一（東京科学大）
- S24-P14 火山観測に向けた東大敷地内での独自ファイバー敷設と DAS 観測について
竹尾明子（東大）・椎名高裕（産総研）
- S24-P15 風により生成された地震波ノイズとその成因の検討
上野暁・前田拓人（弘前大）・高野智也（防災科研）・平野史朗（弘前大）
- S24-P16 湾地形での Lg 波のふるまい
安本陵巧・川方裕則（立命館大）・平野史朗（弘前大）

18:30 – 20:30 懇親会（ラウンジ）

2024 年 12 月 24 日（火）

【座長：廣瀬郁】

- 09:00 S24-10 Atmosphere-Solid Ground Interaction on Mars at 0.5–3.5 mHz Frequency Band
小野寺圭祐・西田究（東大地震研）・Rudolf Widmer-Schmidrig(Black Forest Observatory)・川村太一(パリ地球物理研究所)・Philippe Lognonné(パリ地球物理研究所)・Jorge Hernandez-Bernal (Laboratoire de Météorologie Dynamique)・Gregory Sainton (Observatoire de Paris)・Aymeric Spiga (Laboratoire de Météorologie Dynamique)・Eleonore Stutzmann・Zongbo Xu(パリ地球物理研究所)・Anna Horleston(ブリストル大学)・Martin Schimmel(Geosciencias Barcelona)
- 09:20 S24-11 高密度地震観測記録に基づく低周波脈動振幅の時空間変動の特徴とその起源の検討
大野藍子・前田拓人・平野史朗（弘前大）・高野智也（防災科研）

09:40 S24-12 十和田湖周辺における豪雨と地震動の関係:多項目観測に基づく検討
大和柚季・前田拓人(弘前大)・高野智也(防災科研)

10:00 S24-13 斜面における弾性波能動観測による降雨前後のスローネス変化
中山雅之・川方裕則(立命館大)・土井一生(京大防災研)

10:20 – 10:40 休憩 20 分

【座長:雨澤勇太】

10:40 S24-14 国道 47 号沿道での DAS 観測に基づく浅部地震波速度構造の推定
矢武克啓・中原恒・西村太志(東北大)・江本賢太郎(九大)

11:00 S24-15 DAS データを用いた常時微動表面波解析: Rayleigh 波と Love 波の位
相速度同時推定

福島駿・日野亮太・高木涼太(東北大)・
篠原雅尚・西田究・竹尾明子(東大地震研)

11:20 S24-16 ランダム不均質による散乱が DAS 記録の S/P 振幅比に与える影響
船曳祐輝・宮澤理稔(京大防災研)

11:40 S24-17 DAS 記録を用いた室戸沖の地震学的構造イメージング
利根川貴志・荒木英一郎(海洋研究開発機構)

12:00 – 13:20 昼食

【座長:矢武克啓】

13:20 S24-18 桜島 DAS 観測データの地震波干渉法解析により推定した地震に伴う地
震波速度変化

廣瀬郁・西村太志・中原恒・田口貴美子(東北大)・
中道治久(京大防災研)・江本賢太郎・濱中悟(九州大)

13:40 S24-19 安定分布に基づく坑井検層データの揺らぎの統計解析
佐藤春夫(東北大)・汐見勝彦(防災科研)

14:00 S24-20 モンテカルロ・シミュレーションによる海域地震のエンベロープモデ
リング

浅野陽一(防災科研)

14:20 S24-21 自己相関関数の新しい計算方法: Welch 法の自然な拡張
西田究(東大地震研)・Balthazar Dubois-Dognon (IPGP)

14:40 – 15:00 休憩 20 分

【座長：福島駿】

- 15:00 S24-22 深層学習による日本列島内陸における S 波後続波の網羅的検出
雨澤勇太（東京科学大）・
椎名高裕・緒方淳・深山覚・黒田大貴・内出崇彦（産総研）
- 15:20 S24-23 Frequency Index を介した応力降下量の推定とそれに基づく内陸地震活動の特徴把握
小菅正裕・前田拓人（弘前大）
- 15:40 S24-24 短周期海底地震計記録を用いた令和 6 年能登半島地震余震のモーメントテンソル解析
悪原 岳・篠原 雅尚・山田 知朗（東大地震研）・
東龍介・日野 亮太（東北大）・
尾鼻浩一郎・高橋努・藤江剛・小平秀一（海洋研究開発機構）・
村井芳夫（北大）・馬場久紀（東海大）・山下裕亮（京大防災研）・
八木原寛（鹿児島大）
- 16:00 S24-25 コーダ波スペクトル解析から推定した令和 6 年能登半島地震震源域の応力降下量の空間変化
高橋努・藤江剛（海洋研究開発機構）・篠原雅尚（東大地震研）・
日野亮太（東北大）・小平秀一（海洋研究開発機構）・
山田知朗・悪原岳（東大地震研）・尾鼻浩一郎（海洋研究開発機構）・
東龍介（東北大）・山下裕亮（京大防災研）・村井芳夫（北海道大）・
馬場久紀（東海大）・八木原寛（鹿児島大）
- 16:20 連絡事項